株主のみなさまへ

第189期 中間報告書

（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

ジョージタウンの建築物《マレーシア・ペナン島》
ペナン島の中心部にあるジョージタウンは、かつて東西貿易の拠点として栄えた歴史と文化を色濃く残す街。装飾性に富んだ独特のこの門も、当時の繁栄を物語っています。

豊かな心で　未来をひらく

日本ペイントホールディングス株式会社

Basic & New

ごあいさつ

代表取締役社長

酒井健二

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに当社グループの第189期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,272億46百万円（前年同期比0.3%増）と前年並みとなる中、連結営業利益は原材料コストの上昇などにより156億90百万円（前年同期比5.2%減）となりました。一方、連結経常利益は、持分法投資利益が増加したことなどから、228億32百万円（前年同期比0.6%増）となりました。また、連結四半期純利益は156億3百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

以上の業績から中間配当は、公表どおり1株当たり10円とさせていただきました。

○持株会社体制への移行

さて、当社は、平成26年6月27日開催の定時株主総会において承認決議されました分割計画書に基づき、平成26年10月1日をもって当社の新設承継会社（完全子会社）として「日本ペイント株式会社」を設立し、当社の塗料事業全般および非塗料事業（表面処理剤事業等）を継承させ、日本ペイント株式会社は社名を「日本ペイントホールディングス株式会社」に商号変更し、持株会社体制へ移行しました。

体制移行後の上場会社は、持株会社である「日本ペイントホールディングス株式会社」（証券コード：4612）となりました。当社グループは、持株会社体制への移行により経営と執行を分離し、持株会社たる「日本ペイントホールディングス株式会社」はグループ経営に特化する一方、事業会社たる新「日本ペイント株式会社」には事業執行上の権限と

（次ページに続く）

責任を大幅に委譲し、グループ最適経営と事業運営の自立性向上を実現してまいります。

○事業別分社および子会社再編準備

地域や事業によって異なる成長の道筋（成長モデル）に応じた事業運営を加速するため、所管官公庁等の許認可等が得られることを条件として、平成27年4月を目処に、新「日本ペイント株式会社」および一部国内子会社を再編して4つの事業運営会社を設立することといたしました。

まず、成長の道筋（成長モデル）が異なる個別事業の自立的運営を促進するため、平成26年10月１日に新設した新「日本ペイント株式会社」を、事業別に日本ペイント・オートモーティブ（仮称）、日本ペイント・インダストリー（仮称）、日本ペイント、日本ペイント・サーフケミカルズ（仮称）に分社いたします。また、各事業のバリュー・チェーンの一体性をより強固にするとともに、グループ内の重複機能を整理し効率的な運営を実現するため、新「日本ペイント株式会社」を4分社した各社に、各事業に関連する一部国内子会社を統合いたします。当社グループは、地域や事業の成長モデルに応じて迅速かつダイナミックに意思決定・事業運営を実現する「ポートフォリオ経営」を実践し、グループ最適経営と自立的事業運営の高度化を確実なものとするとともに、次世代の経営人材を育成してまいります。

また、遠からずアジア合弁事業を連結化いたします。成長市場に当社がこれまで以上に積極的に関与していくことで、アジア事業のさらなる高収益体質の実現を図り、成長を確実に取り込んでいきます。あわせて、海外事業買収（M＆A）の検討も行っていく予定です。

これらの施策を通じ、サバイバル・チャレンジの目標である「世界トップの塗料メーカーと肩を並べる」に相応しい企業への変革に取り組んでまいります。

株主のみなさまには今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

第2次組織再編（平成27年4月）後のバリュー・チェーン

連結決算の概要

（単位：億円　億円未満の端数は切り捨てております。）

四半期連結損益計算書

前第2四半期は、平成25年4月1日～平成25年9月30日、
当第2四半期は、平成26年4月1日～平成26年9月30日を示します。

…通期
…第2四半期（累計）

売上高

前第2四半期　1,268

当第2四半期　1,272

＜売上高＞
前年同期比0.3%増となりました。

営業利益

前第2四半期　165

当第2四半期　156

＜営業利益＞
原材料のコストの上昇などにより、
前年同期比5.2%減となりました。

経常利益

前第2四半期　226

当第2四半期　228

＜経常利益＞
持分法投資利益が増加したことなどにより、前年同期比0.6%増となりました。

純利益

前第2四半期　153

当第2四半期　156

＜純利益＞
前年同期比2.0%増となりました。

四半期連結貸借対照表

（億円）

科　目	平成26年3月31日現在	平成26年9月30日現在
資　産	**3,240**	**3,238**
流動資産	1,721	1,675
固定資産	1,518	1,562
負　債	**1,163**	**1,053**
流動負債	910	781
固定負債	252	272
純資産	**2,077**	**2,184**
株主資本	1,887	1,999
内、利益剰余金	1,402	1,514
負債純資産合計	**3,240**	**3,238**

・売掛債権やたな卸資産の減少、海外子会社からの配当金回収による未収入金減少などにより、流動資産は減少しました。
・株価の上昇に伴う投資有価証券が増加したことなどにより、固定資産は増加しました。
・支払手形・買掛金の減少、借入金の返済などにより、負債は減少しました。
・利益剰余金の増加に加え、株価上昇に伴うその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、純資産は増加しました。

お知らせ

当社は、平成27年1月5日から単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。変更により、株主の議決権の単位および東京証券取引所における売買単位が100株となります。

投資家のみなさまにとって、より投資しやすい環境を整備し当社株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図るとともに、全国証券取引所の「売買単位の集約に向けた行動計画」において国内上場会社の普通株式の売買単位（単元株式数）を最終的に100株へ統一する目標が示されている趣旨も鑑み、単元株式数の引下げを行うものです。

なお、株主のみなさまに行っていただく手続きは一切不要です。また、東京証券取引所における売買単位が100株に変更になった後も、単元未満株式を所有するみなさまの株式の買取りおよび買増しの制度をご利用頂けます。

連結決算の概要／株価推移

（単位：億円　億円未満の端数は切り捨てております。）

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期は、平成25年4月1日～平成25年9月30日、
当第2四半期は、平成26年4月1日～平成26年9月30日を示します。

（億円）

科　目	前第2四半期	当第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	75	145
投資活動による キャッシュ・フロー	△29	△20
財務活動による キャッシュ・フロー	△171	△112
現金及び現金同等物の期首残高	427	437
現金及び現金同等物の四半期末残高	315	452

営業活動により145億円の収入、投資活動により20億円の支出、財務活動により112億円の支出がありました。

株価推移（2013年10月～2014年9月）

株価終値平均
（月次平均、円）（東京証券取引所）

（東証　月間相場表に基づく）

※2013年10月1日から2014年9月30日までの期間の最高値・最安値

ホームページのご案内

2014年10月1日より、ホームページをリニューアルしました。

投資家情報ページのご案内

詳細な財務情報や企業情報に関しては、
投資家情報ページをご参照ください。

http://www.nipponpaint-holdings.com/

日本ペイントホールディングス　検索

会社概要／株式状況

（平成26年9月30日現在）

本　　社	〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2 電話 06-6458-1111
創　　業	明治14年3月14日
資　本　金	277億1千2百万円
主要な事業内容※1	塗料およびファインケミカルの製造・販売など。

発行可能株式総数	**1,000,000,000株**
発行済株式の総数	**265,402,443株**
株主数	**8,534名**

所有者別分布状況（株式数比率）

自己保有株式4,687,352株は「個人・その他」に含めています。

大株主※2

株主名	持株数（千株）	持株比率※3（%）
NIPSEA INTERNATIONAL LIMITED※4	63,678	24.42
ナテイクシス	12,328	4.72
日本生命保険相互会社	10,817	4.14
住友生命保険相互会社	10,750	4.12
株式会社三井住友銀行	9,999	3.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7,820	2.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,133	2.73
三井住友信託銀行株式会社	7,053	2.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	5,109	1.95
日本ペイント特約店持株会	4,549	1.74

※1.当社は、平成26年10月1日より持株会社体制へ移行し、事業内容をグループ戦略立案および各事業会社の運営に変更しております。
※2.当社は、自己株式4,687,352株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
※3.持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨てております。
※4.NIPSEA INTERNATIONAL LIMITEDは、ゴー・ハップジン氏が代表を務めるウッドラムホールディングスリミテッドの100%子会社です。

役員／株式メモ

（平成26年9月30日現在）

役員

代表取締役社長	酒井　健二
代表取締役専務執行役員	上野　裕章
取締役常務執行役員	西島　寛治
取締役上席執行役員	中村　英朗
取締役上席執行役員	三輪　宏
取締役上席執行役員	南　学
取締役上席執行役員	田堂　哲志
取締役	ゴー・ハップジン※1
取締役（社外取締役）	小原　正敏
常勤監査役	桑島　輝昭
常勤監査役	金倉　顕博
社外監査役	清水　正裕
社外監査役	髙橋　司
社外監査役	松本　岳

※1　取締役ゴー・ハップジンは条件付きの就任となります。アジア合弁会社の持分譲渡と、それに続く第三者割当増資の実行が完了した後に、取締役に就任します。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	1,000株※2
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区 伏見町三丁目6番3号 フリーダイヤル 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 http://www.nipponpaint-holdings.com/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

※2　平成27年1月5日から単元株式数を100株に変更いたします。